

産業厚生常任委員会資料

平成28年8月22日

地域創造部

商工観光課

目 次

商工観光課

滝野交流保養館整備工事について…………… 1～2

道の駅とうじょう南側駐車場の舗装について…………… 3～5

滝野交流保養館整備工事について

平成28年度当初予算において、交流保養館整備工事として16,000千円を計上し、サウナ等の改修工事を予定しています。

予算要求時には、複数の工種で同一箇所を施工することとなるため、工程の重複がどの程度可能か判断できませんでした。

工事の起工に際し、再度各工種の工事工程を見直し、工程を可能な限り重複させることで、最低限の休業期間で工事を完了させられると判断し、施設管理者と協議したうえで比較的用户者の少ない次の期間を休業することといたしました。

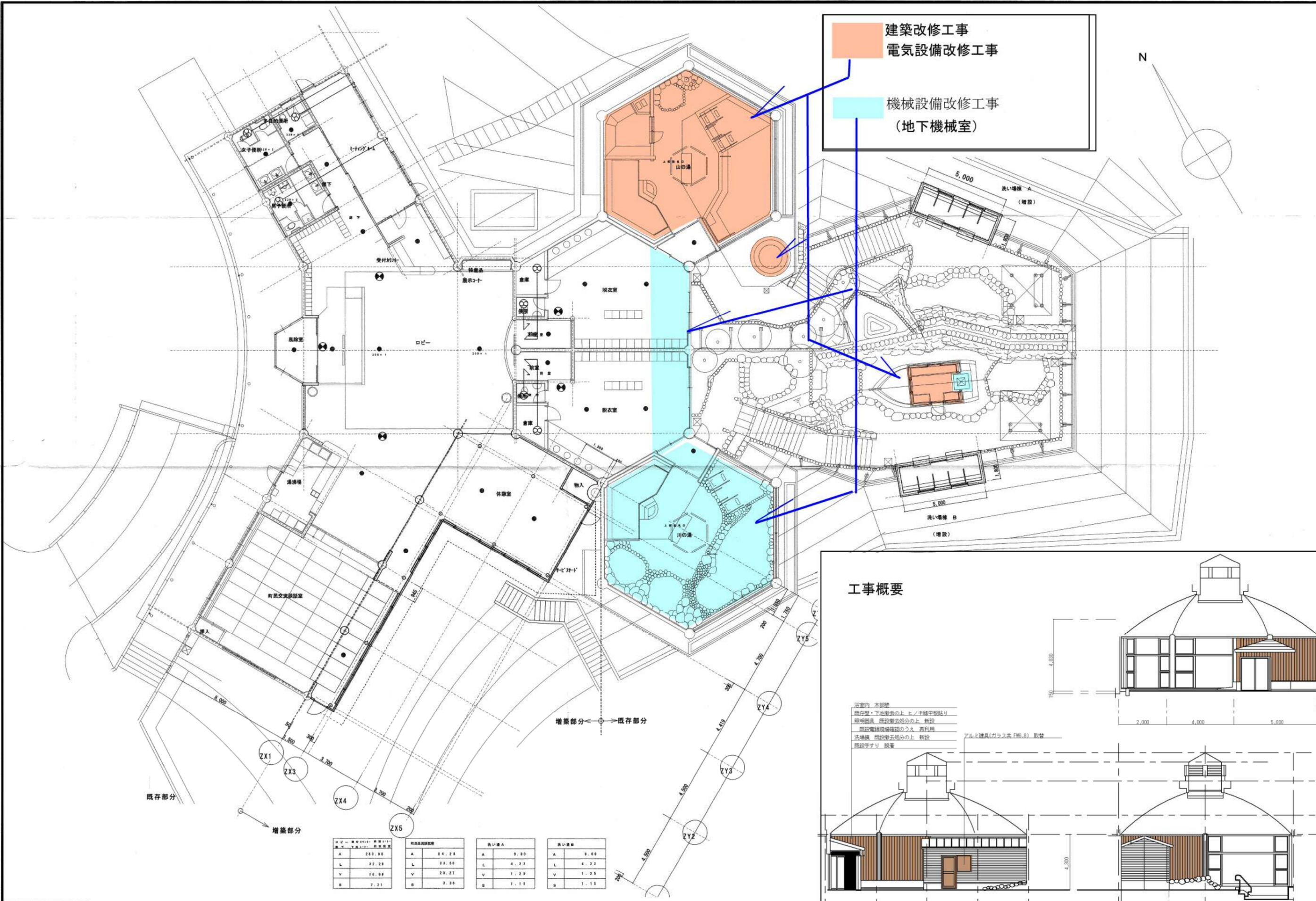
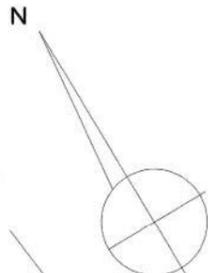
休業期間 平成28年10月12日(水)～10月20日(木)を予定(うち1日は休館日)
工事に伴う休館は、実質8日間

具体的な工事の概要については、下記のとおり。

- ①建築工事：山の湯、川の湯のサウナ及び山の湯浴槽のかまち部等、木造部の劣化箇所の修繕
- ②電気設備工事：山の湯の老朽化した照明設備等の取替
- ③機械設備工事：各浴槽等とろ過機をつなぐ防振継手及びサウナストーブの交換

なお、本工事による休業期間に生じる収支については、指定管理料を変更することで対応します。

建築改修工事
 電気設備改修工事
 機械設備改修工事
 (地下機械室)



工事概要

浴室内 木部壁
 既存壁・下地撤去の上、上ノ平線空転貼り
 照明器具 既存撤去部分の上、新設
 既定電線配線撤去の上、再利用
 洗場壁 既存撤去部分の上、新設
 既設手すり 設置

アルミ建具(ガラス共 F 既. 8) 取替

浴室内		和室及調理学習室		洗い場 A		洗い場 B	
種別	面積	種別	面積	種別	面積	種別	面積
A	242.98	A	84.28	A	9.89	A	9.89
L	32.29	L	33.89	L	4.22	L	4.22
V	16.99	V	20.27	V	1.25	V	1.25
B	7.21	B	3.29	B	1.19	B	1.19

道の駅とうじょう南側駐車場の舗装について

標記工事については、平成27年8月～11月に舗装工事を行い、道の駅利用者の利便性の向上を図ってきたところです。

しかしながら、本年6月頃から一部箇所で舗装の損傷が散見されるようになり、現場を確認したところ、アスファルトの舗装面が重量物で押しつぶされ、損傷が路盤まで達している状況でした。



補修に際し、路盤まで損傷している原因を十分調査したうえで修繕方法の検討を行い適切な施工をしなければ、すぐ同じ状況になることが予測されること、加えて、夏場は路面の温度が上がりアスファルトが変形しやすくなり、変形により同様の状況が他の箇所でも生じる恐れがあることなどから、現在は現状の確認にとどめています。

道の駅南側駐車場用地については、平成26年度にUR都市再生機構から購入した物件で、宅盤全体が切土で岩盤であることは、購入前に宅盤を下げる工事を実施した都市機構から確認しています。



(南山活性化支援施設建設のため掘削がらが露出した断面)

舗装新設工事の施工にあたっては、UR都市機構からの切盛図面や宅盤の隣接する道の駅とうじょうの駐車場の舗装構成(密粒アスファルト1層)を参考にしつつ、同様の舗装も検討しました。

しかしながら、舗装前の利用状況から大型車の利用がかなり多くなることが予想されることと、舗装面の排水対策を行う必要があることから、基層に粗粒アスファルトを使用し、表層にポーラスアスファルトを使用する2層の舗装構成とすることで、強度と排水性が担保できると判断し施工しています。

駐車場の利用は、通常的大型車両に加え道路法による通行許可を受ける必要のある特殊車両(総重量 20 t 以上)の利用がかなり多い状況にあり、道の駅周辺道路を利用する総重量 40 t を超える車両の許可件数も 180 台以上となっています。

重量物運搬用セミトレーラ

自重(23t)+積載物(25t)=総重量48t



コンテナ用セミトレーラ

自重(12t)+積載物(28t)=総重量40t



※画像は同車両のイメージです。

舗装の損傷については、これらの特殊車両を含む大型車両の利用が予想以上で、駐車の際にハンドルを切る位置がほとんど同じであるため、一点に荷重がかかり表面をねじることが原因で舗装に亀裂が入り、そこから路盤に水が回ることで損傷が大きくなったと考えています。

対策として、9月補正予算により傷んでいる箇所の土の状況を掘削等により調査を行い、特殊車両に対応できる舗装構成とする実施設計費用を含めた委託料を計上し、修繕の方針を決定します。